

部 局	消防局	補 職	部 長	氏 名	消防局長
-----	-----	-----	-----	-----	------

1. 部局の使命

市民の生命、身体及び財産をあらゆる災害や事故等から保護するため、火災または地震等の災害による被害を軽減するほか、市民、事業者、医療機関との連携による「救命力」の向上や広域連携、消防体制の見直しによる消防力の強化を図り、安心して安全なまちづくりを推進します。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>○消防局は、応急対策を中心とした防災を担う行政機関として、消防車両や消防水利などの防災基盤の整備を図り、消防力の確保と救命力世界一の推進など、豊中市にふさわしい市民サービスが提供できるよう取り組みます。</p> <p>○火災予防体制の充実と自主救護能力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>○実現できるところからの消防の広域連携を推進し、消防資源の効率的な運用を図ります。</p>	<p>○防災基盤の整備として消防車両等の更新整備を計画に沿って進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> *救助工作車 1台 *小型水槽付ポンプ自動車 1台 *高規格救急自動車 1台 *テロ対策用特殊資機材 5着 *応急手当普及啓発車（寄贈） 1台 *耐震性貯水槽設置（北町2丁目第3公園）60立方メートル1基 <p>○救急救命体制の強化については、市民の救命力を高めるため、ジュニア救命サポーター事業や、救命講習を実施するとともに、コロナ禍での普及啓発環境を整えるため、eラーニングの実施やYoutubeの活用を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> *ジュニア救命サポーター事業実施小学校数 12校 1,235人 *救命講習受講者数 12,180人 <p>○火災予防体制の充実と自主救護能力の向上については、住宅防火対策や防火対象物の違反是正の強化を図るとともに、自主防災組織や消防防災協力事業所等の訓練支援を行い、災害に強いまちづくりを推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> *自主防災組織に対する訓練指導数 65組織（実施率40.4%） *消防防災協力事業所登録数316事業所 <p>○消防の広域連携については、池田市との消防指令業務の共同運用並びに能勢町消防事務の受託を計画に基づき業務を遂行しました。また、豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市の5市による消防指令業務の共同運用の検討を行い、令和3年（2021年）2月1日に協議会を設置するとともに、近隣市町との実現可能な広域連携について検討を行いました。</p> <p>○総括として、これらの事業を「市民力」「地域力」を消防資源として取り込みながら推進することにより、市の防災基盤並びに消防体制の強化が図られました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の変更や中止を行いました。取り組み方針に沿った事業を概ね遂行できました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>消防の広域連携の推進</p> <p>○池田市との消防指令業務の共同運用及び能勢町消防事務の受託について、計画等に基づき業務を遂行するとともに、近隣市町と実現可能な消防の広域連携について検討を進めます。これにより、相互の消防力の強化を図り、住民の安心・安全を向上させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 計画等に基づく消防広域連携業務の実施及び運営管理 * 消防指令業務共同運用の拡充について検討 * 予防業務システムの共同整備・運用について検討 * 近隣市町と実現可能な消防広域連携について検討 	<p>○計画等に基づく消防広域連携業務の実施及び運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> * 池田市との消防指令業務連絡会(11月) * 能勢町との消防事務の受託に関する定期協議(8月・2月) <p>○豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市の5市で消防指令業務共同運用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> * 5市指令業務共同運用推進会議実施検討委員会、各作業部会を実施(4月～1月) * 5市指令業務共同運用実施検討委員会最終報告書完成(8月) * 5市消防指令業務共同運用基本構想(素案)へのパブリックコメント実施(9月) * 5市消防通信指令事務協議会※調印式(1月) * 5市消防通信指令事務協議会※設置(2月) * 協議会設置について大阪府へ届出(2月) * 5市消防通信指令事務協議会幹事会を実施(3月) * 5市広域消防指令情報システム(予防業務システムを含む。)の整備構想を策定 ※5市消防通信指令事務協議会の正式名称は豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防通信指令事務協議会です。 	<p>○計画等に沿って、池田市との消防指令業務の共同運用及び能勢町の消防事務を実施します。</p> <p>○5市での消防指令業務の共同運用について、令和6年(2024年)4月からの運用開始に向けて、協議会で具体的な検討・調整を図ります。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-3-② 消防体制を充実強化します。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>53 広域自治体事務共同処理の推進</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>ジュニア救命講習など「救命力世界一」の取り組みの推進</p> <p>○ジュニア救命講習の全校実施に向けた取組みや、地域イベントでの救命講習の実施など、地域に根ざした応急手当普及啓発活動を展開することにより救命手当の一層の普及に努め、市民の救命力を高めます。 *ジュニア救命サポーター事業の実施 *市民救命サポーター制度の実施</p> <p>○引き続き年間20,000人以上への救命講習の実施をめざします。 *応急手当普及啓発の推進等</p> <p>○「119救命サポートチーム」を中心に、119番通報に対する心肺蘇生法などの口頭指導体制の充実強化に努め、救命力の向上をめざします。 *口頭指導プロトコルの実施等</p>	<p>○ジュニア救命サポーター事業 *ジュニア救命講習実施校 12校 1,235人</p> <p>○市民救命サポーター制度の実施 *市民救命サポーター・ステーション認定事業所数 185事業所 *市民救命サポーター・ほーむ登録者数 4,153人</p> <p>○応急手当普及啓発の推進等 実施回数 388回 受講者数 12,180人</p> <p>○口頭指導プロトコル※の実施等 *指令員に対し、119番通報の内容から、重症度・緊急度の判定を的確に判断するため、救急救命士が中心となって様々な状況に応じた聴取方法の研修を実施</p> <p>※口頭指導プロトコル 119番通報等の救急要請受信時に、救急現場付近にある者に電話等で応急手当の協力を要請し口頭で応急手当の指導を行う手順のこと。</p>	<p>○教育委員会、各小学校と緊密な連携を図り、ジュニア救命講習の市内全小学校実施に向け取り組みを進めます。</p> <p>○救命講習をeラーニングやSNSを活用して、受講しやすい環境作りを進めます。</p> <p>○各地域で開催されるイベント等において応急手当の普及啓発活動を行います。</p> <p>○「119救命サポートチーム」を中心とした口頭指導体制の充実強化を図ります。</p>
	総合計画		
	2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。		
基本政策			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
3	<p>地域防災力の育成による自主救護能力の向上</p> <p>○自主防災組織や消防防災協力事業所などへの、消火・救急・救助などの訓練を実施し、技術を身に付けていただくことにより、南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生時における豊中市の自主救護能力を高めます。自主防災組織への訓練については、前年度に引き続き、実施率60%をめざします。また、消防防災協力事業所の育成支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自主防災組織に対する訓練実施 * 消防防災協力事業所の育成支援 	<p>○自主防災組織に対する訓練実施参加組織65組織（実施率40.4%）参加人員963人</p> <p>○消防防災協力事業所の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> * 防災研修会の実施（10月） * 登録事業所数316事業所 * 消防防災協力事業所向けの防災訓練ハンドブックの作成 	<p>○自主防災組織、事業所等への積極的な訓練指導を行います。</p> <p>○市内事業所へ消防防災協力事業所への登録を呼びかけ、地域防災力の向上を図ります。</p>	
	総合計画			
	2-3-①	救急救命体制および防火安全対策を強化します。		
基本政策				
0				

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>警防体制の強化</p> <p>○「指揮調査隊」による現場指揮体制の充実強化を図るとともに、「特別消火隊」を中心とした消火技術の向上や「高度救助隊」を中心とした救助技術の向上、「特殊災害対策専門班」による特殊災害対応力の強化のため、部内研修や想定訓練などを充実させ、警防体制を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 指揮調査隊による各種訓練の企画・実施 * 特別消火隊による指導及び消火技術向上のための研究や訓練の実施 * 高度救助隊による救助技術向上のための研修や訓練の実施 * 特殊災害対策専門班による部内研修や訓練 <p>○消防力を強化するためICTの活用を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> * 災害時におけるICT活用の検討 	<p>○指揮調査隊による各種訓練の企画実施</p> <ul style="list-style-type: none"> * はしご車操法技術錬成会 (6月) * ハイブリッド車事故対策研修 (12月) * 実戦ポンプ操法大会 (2月) <p>○特別消火隊による指導及び消火技術向上のための研究</p> <ul style="list-style-type: none"> * 実火災体験型訓練 (10月) <p>○高度救助隊による救助技術向上のための研修や訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> * 消防救助技術特別訓練 (4月～7月) * 消防救助技術養成訓練 (9月) * 交通事故を想定した実車破壊救助訓練 (9～1月) * 国際救助隊 (IRT) 隊員訓練 (1月～2月) <p>○特殊災害対策専門班による部内研修や訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> * 水防訓練 (4月) * 特殊災害対策合同訓練 (放射性物質(N)災害) (9月) * 航空機事故対策空港消防所合同滑走路内地水利研修 (9月・3月) <p>○災害時におけるICT活用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> * 災害時等の無人航空機 (ドローン) 支援協力に関する協定を民間事業者と締結 (10月) 	<p>○「指揮調査隊」を中心に、現場指揮体制の強化を図ります。</p> <p>○「特別消火隊」を中心に、消火技術の向上を図ります。</p> <p>○「高度救助隊」を中心に、救助技術の向上を図ります。</p> <p>○「特殊災害対策専門班」を中心に大規模イベント等によるテロ災害を含む特殊災害対応力の強化を図ります。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-3-② 消防体制を充実強化します。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>防火対策の強化</p> <p>○住宅火災による死傷者をなくすため、高齢者への防火対策を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置促進や維持管理等の火災予防広報を実施します。また、消防用設備等に係る指導や査察の実施により、防火対象物、危険物施設等の防火安全対策を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高齢者に対する火災予防講習の実施 * 住宅用火災警報器設置促進・維持管理に係る広報の実施 * 消防用設備等に係る建築物の計画の審査及び建築物に設置が義務付けられている消防用設備等の検査 * 年度査察計画に基づく防火対象物、危険物施設等の査察の実施 * 消防法令違反のある防火対象物等に対する是正指導の実施 * 消防音楽隊による火災予防広報の実施 <p>○北・南・新千里消防署による地域に根差したきめ細やかな消防訓練指導や火災予防広報活動を展開し、市域内における火災の未然防止及び火災による被害の軽減を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 消防署による消防訓練指導や火災予防広報活動の実施 <p>○上記取組みを、消防局ホームページやSNSの活用のほか、研修コンテンツの回覧などにより、人との接触を避けながら実施します。また、新型コロナウイルス感染症等の影響も注視しながら、可能な限り対面での火災予防講習の実施や、消防音楽隊の広報活動、地域のイベント等での啓発活動も実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者防火対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> * 高齢者火災予防講習DVDの作成（新型コロナウイルス感染防止対策） ○住宅用火災警報器設置、維持管理等に係る広報 <ul style="list-style-type: none"> * 住宅用火災警報器設置率調査及び維持管理広報の実施 * 住宅用火災警報器取付支援事業の実施 ○消防用設備等に係る建築物の計画の審査及び防火対象物等に対する査察の実施 <ul style="list-style-type: none"> * 査察推進員実務研修及び査察推進会議の実施（7月～） * 液化石油ガスを貯蔵する飲食店への特別査察及び是正指導の実施（8～9月） * 木造中廊下式共同住宅等への特別査察及び是正指導の実施（2月） ○火災予防広報活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> * 防火作品表彰式の実施（10月） * 火災予防運動中における広報の実施（11月・3月） * 住宅火災多発に伴う火災予防特別広報の実施（1月27日～3月7日） * 消防音楽隊による防火広報出演2回、延べ53人、参加市民数750人、Youtubeによる演奏動画の配信 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者防火対策を推進し、火災による被害の軽減を図ります。 ○住宅用火災警報器の設置、維持管理等、住宅防火に係る広報を行います。 ○消防法令違反のある防火対象物に対して査察及び違反是正を行うことにより防火対策の強化を図ります。 ○消防イベントや消防音楽隊の演奏を通じた防火広報を行います。
	<p>総合計画</p> <p>2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>人材育成に関する取り組みの推進</p> <p>○「豊中市消防局人材育成実施計画」に基づき、研修体制の充実や職員が能力を発揮できる環境をつくることにより、職員個々のレベルアップや士気の高揚、災害対応力の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 各種研修の実施 * 再任用職員の活用 * 女性消防職員活躍推進の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> * 部内階層別研修 * 各種団体への委託研修 * 新人職員研修 ○再任用職員の活用 ○女性消防職員活躍推進の取り組み ○WEB職員採用説明会の実施（8月） 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症やデジタル・ガバメントの推進など、社会情勢の変化に対応した人材育成に関する取組みを推進し、職員の士気高揚、災害対応力の強化を図ります。 ○選択と集中により効果的な研修派遣を行います。 ○市の資格等取得助成制度の積極的な活用などにより、消防活動に必要な資格の取得を図ります。
	総合計画		
	2-3-② 消防体制を充実強化します。		
基本政策			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>消防団の充実強化</p> <p>○「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、地域に密着した災害活動を実施する消防団の活動を支援し、消防団員の確保に努めるほか、消防団の装備の充実強化を図り、地域の防災力並びに災害対応力を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 消防団活動の支援 * 消防団員の育成支援及び資機材等の整備 * 消防団屯所及び車両等の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ○消防団活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> * 地域安全パトロール等での消防団広報活動の実施 * 歳末警戒の実施 (12月27日～29日) * 団員数推移【条例定数575人】 4月当初525人→524人 (3月1日時点) * 消防団員入団促進広報実施 (1月、市ホームページ及びTwitter) ○消防団の教育訓練等の実施 <ul style="list-style-type: none"> * 指導者養成訓練 (9月) * 女性消防団員の震災対応研修 (9月) * 消防学校での教育 (新型コロナウイルス感染症の影響により、一部計画変更や中止) <ul style="list-style-type: none"> ・基礎教育訓練 (10月) ○消防団屯所の整備 <ul style="list-style-type: none"> * 桜塚分団屯所の新築移転 * 蛸池分団屯所の北消防署蛸池出張所への仮移転 ○消防団機械器具の整備 <ul style="list-style-type: none"> * 庄内東分団牛立班の小型動力ポンプの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○消防団の活動を支援し、消防団の充実強化を図ります。 ○とよなか起業・チャレンジセンター移転にかかる蛸池分団屯所建替え工事の基本設計を進めます。
総合計画			
	2-3-② 消防体制を充実強化します。		
基本政策			
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	<p>消防拠点の再整備</p> <p>○各消防署及び消防出張所について、計画的に必要な改修や設備の更新を行うことにより、防災拠点としての機能強化及び消防活動の充実強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 消防拠点再整備に係る課題の検討 * 消防庁舎改修について関係部局と調整 * 女性職員が勤務できる施設の整備 * 個別施設計画の策定 	<p>○消防拠点再整備に係る課題の検討</p> <p>○消防庁舎改修について関係部局と調整</p> <p>○豊中市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画令和2年度(2020年度)版の策定(9月)(都市経営部創造改革課取りまとめ)</p>	<p>○名神高速道路の高架下にある南消防署小曾根出張所の移転改修について検討を進めます。</p> <p>○豊中市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の内容を踏まえ、老朽化した消防庁舎の改修等について検討を進めます。</p>
	<p>総合計画</p> <p>2-3-② 消防体制を充実強化します。</p>		
<p>基本政策</p> <p>0</p>			

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
9	<p>新型コロナウイルスを含む感染症対策の推進</p> <p>○新型コロナウイルス感染症等の発生、流行に備え、消防職員の感染防止対策を実施するとともに、関係機関と情報共有・連絡体制を構築します。</p> <p>* 感染防止対策資器材及び施設の整備 * 訓練等による知識及び技術の習得</p>	<p>○職員の新型コロナウイルス感染症等対策の推進</p> <p>* マスク着用、手洗い、手指消毒 咳エチケット、検温などの基本的な感染症対策の徹底</p> <p>* 毎日勤務者における、時差出勤 週休日の振替の推奨</p> <p>* 食事の時差、分散の取組み * 会議、打ち合わせのWEB化等</p> <p>* 消防局新型コロナウイルス感染症対策警防本部の設置(4月)</p> <p>○施設の感染症対策</p> <p>* 来庁者と職員の動線分け * 窓口へのパーティション設置 * 庁舎消毒及び換気の励行</p> <p>○業務継続マニュアルの改訂</p> <p>* 検討委員会設置(10月)</p> <p>○救急活動資機材の整備</p> <p>* 救急活動に必要な資器材の備蓄</p> <p>○訓練等</p> <p>* 新型コロナウイルス感染症患者搬送に伴う感染防護服着衣訓練</p>	<p>○引き続き、様々な感染症対策を実施します。</p>	
	総合計画			
	2-3-①	救急救命体制および防火安全対策を強化します。		
	基本政策			
0				

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>ジュニア救命サポーター事業の全小学校での実施</p> <p>○ジュニア救命サポーター事業について、毎年市内全小学校（私立小学校含む。）での実施をめざします。これにより、こどもの頃から命の大切さを学ぶとともに、救命手当の必要性を根付かせ救命力の一層の向上を図ります。</p>	<p>～令和5年（2023年）</p> <p>○教育委員会や小学校との調整などによる、ジュニア救命サポーター事業の継続的な実施</p>
	総合計画	
	2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。	
	基本政策	
0		
2	<p>近隣市町との消防広域連携の検討</p> <p>○豊能地域をはじめとする近隣市町と相互の消防力の強化を図り、住民の安心・安全が向上するよう、実現できるところから消防の広域連携を検討します。</p>	<p>～令和5年（2023年）</p> <p>○実現できるところからの消防の広域連携の検討</p>
	総合計画	
	2-3-② 消防体制を充実強化します。	
	基本政策	
53	広域自治体事務共同処理の推進	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>市民・事業者との協働の取り組みの推進</p> <p>○女性防火クラブ・自主防災組織・消防防災協力事業所の育成支援など、市民・事業者との協働に関する取り組みを推進し、南海トラフ巨大地震など大規模災害発生時における豊中市の自主救護能力を高めます。</p>	<p>～令和5年（2023年）</p> <p>○自主救護能力の向上を図る取り組みの強化</p> <p>○自主防災組織や消防防災協力事業所等の育成支援</p>
	総合計画	
	2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。	
	基本政策	
	0	
4	<p>災害対応力の強化</p> <p>○複雑多様化する災害や、増大する救急需要、大規模イベント開催時のテロ災害等への対応力を強化するため、人員体制の効率化に努めつつ、救急救命体制の増強を図るほか、人材育成に関する取り組み及び計画的な消防拠点の再整備を進めます。</p>	<p>～令和5年（2023年）</p> <p>○人材確保に係る課題の検討</p> <p>○人材育成に関する取り組みの推進</p> <p>○救急救命体制の強化を推進</p> <p>○消防拠点再整備に係る課題の検討</p>
	総合計画	
	2-3-② 消防体制を充実強化します。	
	基本政策	
	0	